



奈良県債 IR資料

Nara Prefecture 2024 Investor Relations



©NARA pref.

目次

1. 奈良県の特徴

① 奈良県の概要	3
② 奈良県の日本一	4
③ 奈良県への交通アクセス	5-7
④ 奈良県の豊富な魅力	8
⑤ 奈良県の宿泊施設	9
⑥ 観光立県「奈良」	10
⑦ 奈良県の経済・産業振興	11-12

2. 奈良県の財政状況

① 決算額の概況	14
② 県債残高の推移	15-16
③ 県税の推移	17
④ 義務的経費の推移	18
⑤ 基金残高の推移	19
⑥ 財政健全化判断指標の状況	20
⑦ 財政健全化判断指標の全国的なポジション	21
⑧ 公営企業の決算状況	22
⑨ 公社・独立行政法人の決算状況	23

3. 奈良県の起債運営

① 市場公募債の発行概要	25
--------------	----

さいごに

さいごに	26
------	----



奈々鹿

nanaka

ナナカ

奈良県広報担当VTuber

1 奈良県の特徴

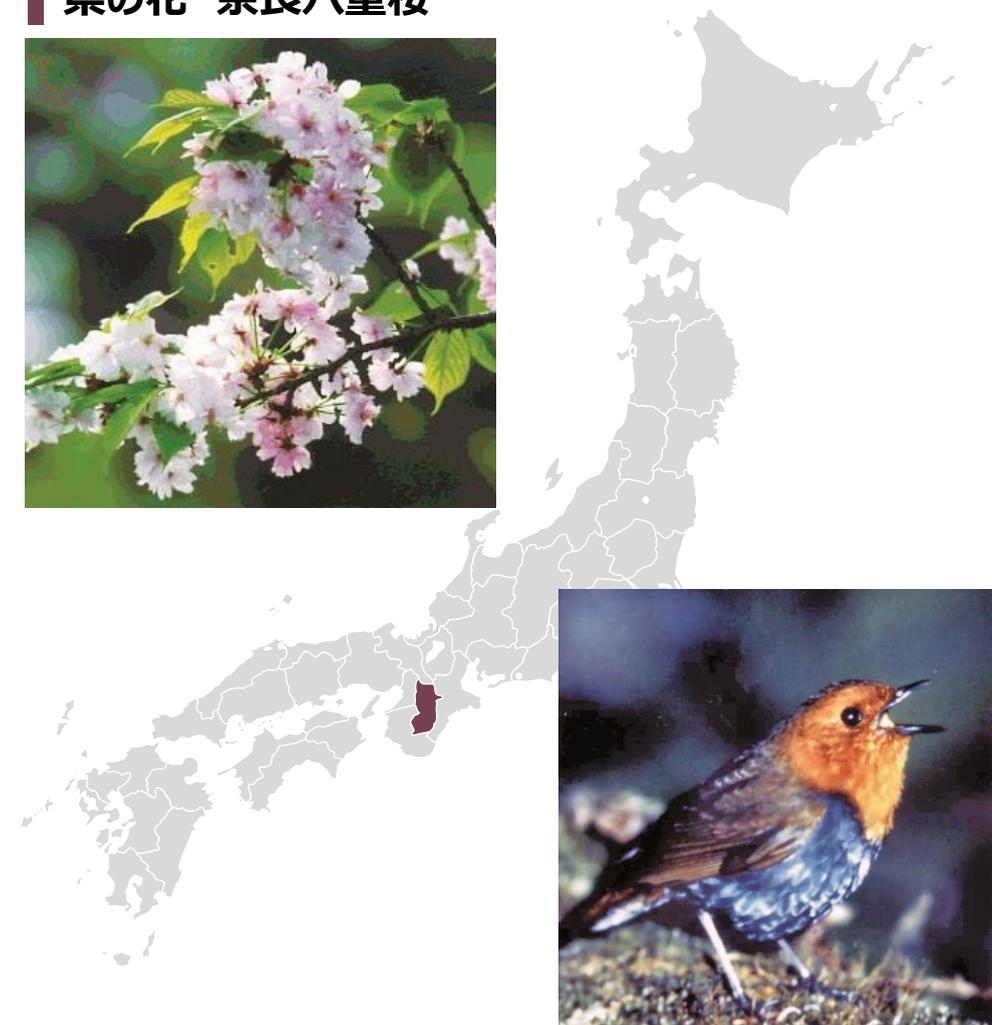
2 奈良県の財政状況

3 奈良県の起債運営

1-① 奈良県の概要

位置	本州のほぼ中央、紀伊半島の真ん中に位置し、 周辺を山岳に囲まれた内陸県	
地形	吉野川に沿って東西に走る中央構造線により、 北部低地と南部山地に分かれる	
気象	<ul style="list-style-type: none">● 北部(盆地)は内陸性気候● 南部(山地)は山岳性気候	
面積	3,691km ²	全国第40位
人口	132万人	全国第29位
県内総生産 (名目)	3兆6,859億円	全国第37位
大学・短大等 進学率	64.5%	全国第8位
世界遺産	3か所	全国第1位
国宝建築物 件数	64件	全国第1位

県の花 奈良八重桜



県の鳥 コマドリ

1-② 奈良県の日本一

3つの世界遺産と候補地



法隆寺地域の仏教建造物

1993年12月登録



古都奈良の文化財

1998年12月登録



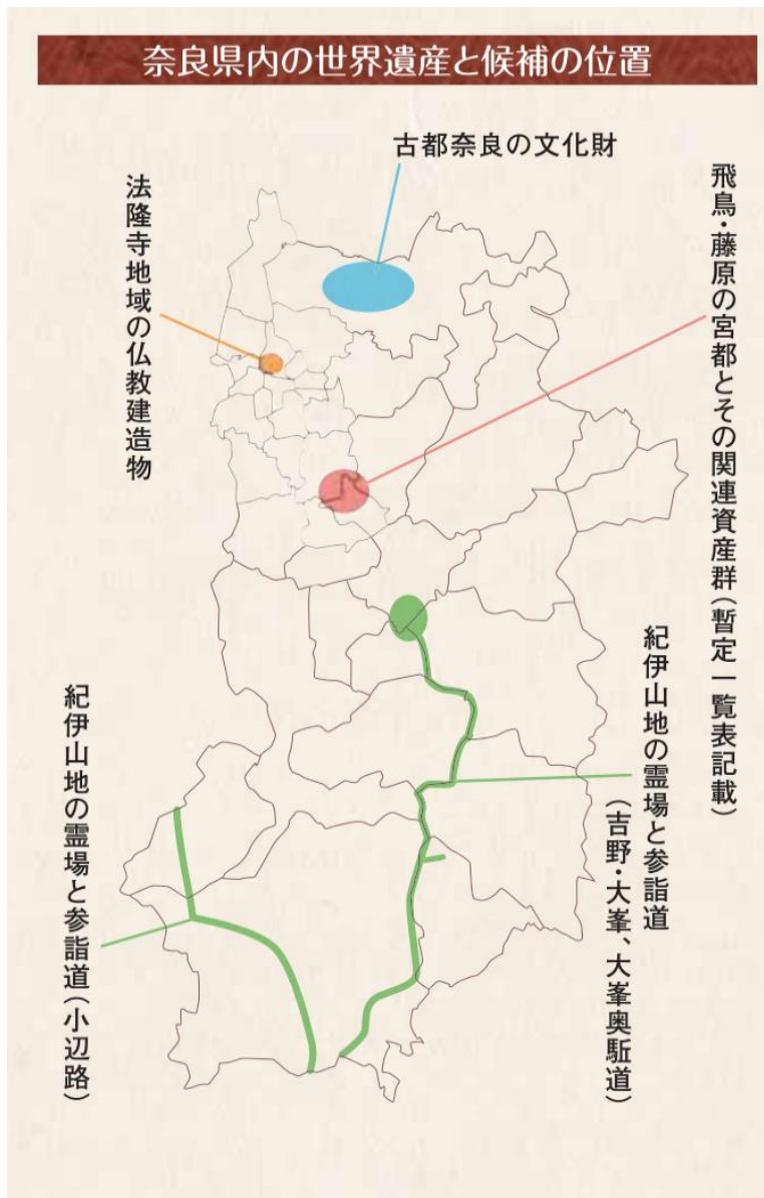
石舞台古墳

令和8年度に「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録を目指しており、**令和6年9月に国内推薦候補に選定!**



紀伊山地の霊場と参詣道

2004年7月登録

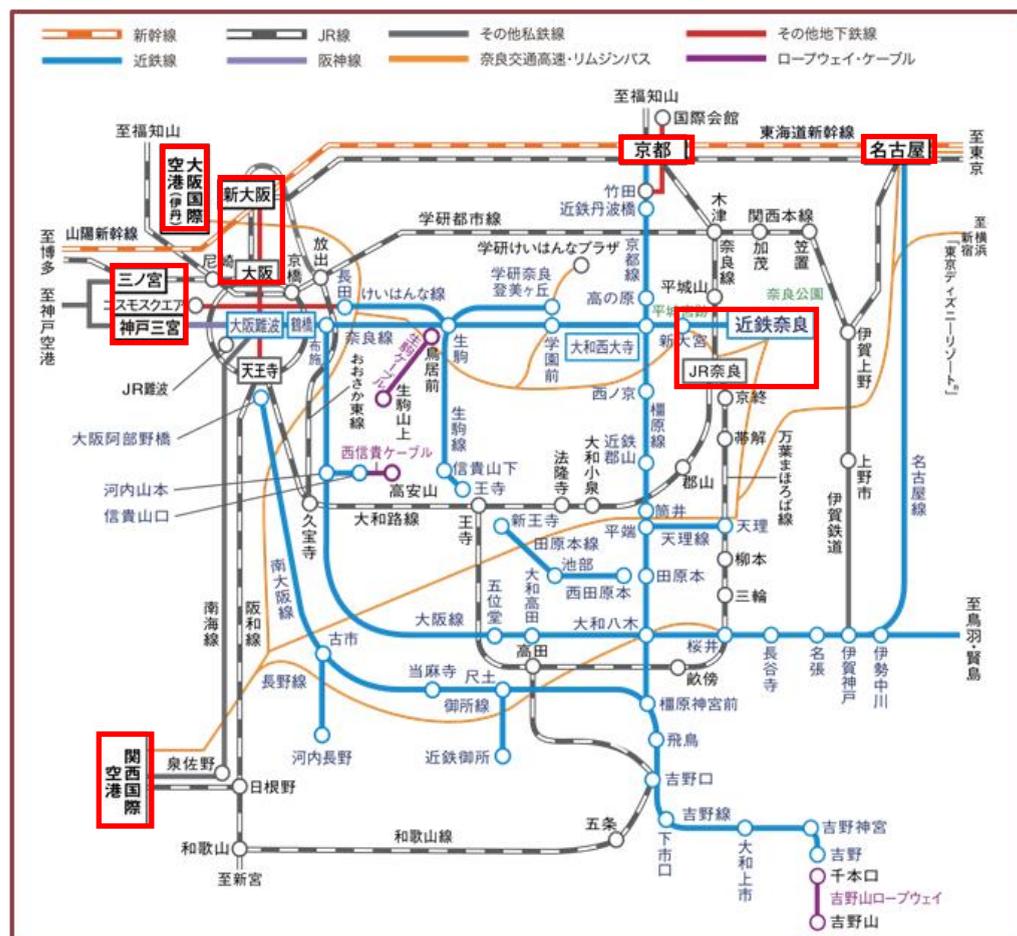


1-③ 奈良県への交通アクセス

交通アクセスが充実

- 鉄道網が充実しており、新幹線等を利用して**主要都市から短時間**でアクセスが可能（東京から約3時間程度、名古屋から約2時間程度）
- **関西国際空港、伊丹空港**からの良好なアクセス（関西国際空港から奈良市中心部まで自動車利用で約100分、鉄道利用で約90分程度）

交通ネットワーク網



1-③ 奈良県への交通アクセス

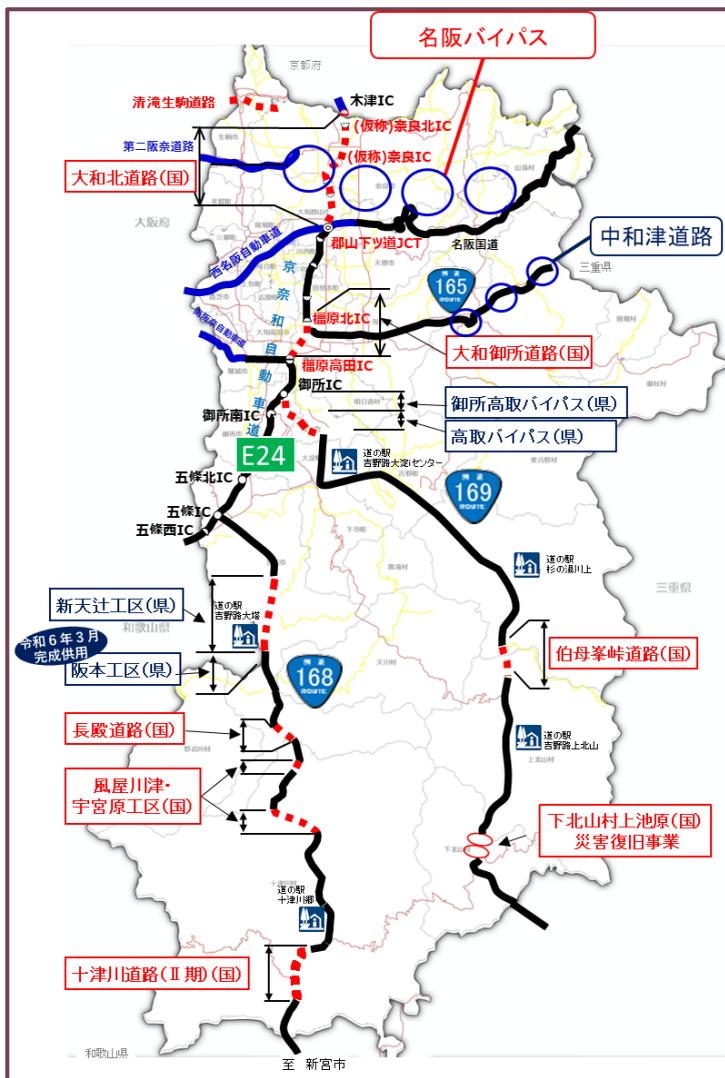
2037年（13年後）リニア中央新幹線全線開業・「奈良市附近駅」の設置



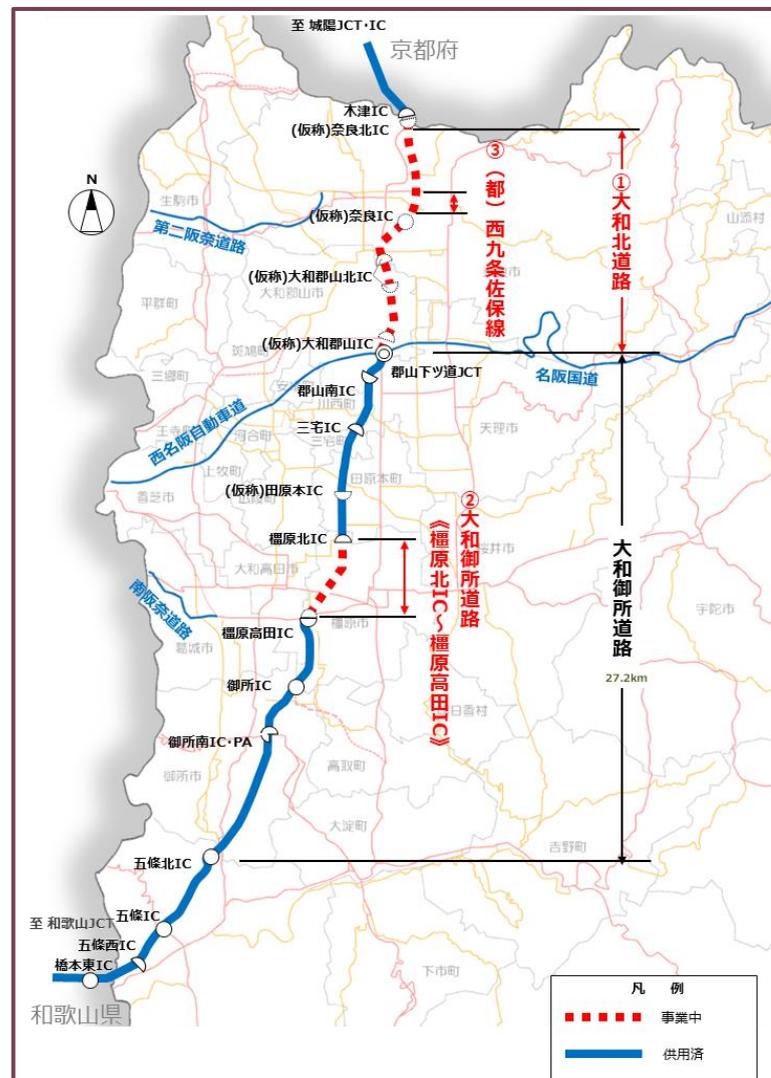
1-③ 奈良県への交通アクセス

高速道路のミッシングリンク・ボトルネックの解消に向けた動き

広域道路ネットワークの整備促進



京奈和自動車道の整備促進



1-④ 奈良県の豊富な魅力

- 1300年の歴史を誇る古都・奈良、日本の国のはじまりを体感できる世界遺産に囲まれ、**国宝・重要文化財の建築・仏像**が数多く残されている地
- さらに、**豊かな自然**、現代と昔が調和した町並みなど県内各地に豊富な魅力

十津川村 谷瀬の吊り橋



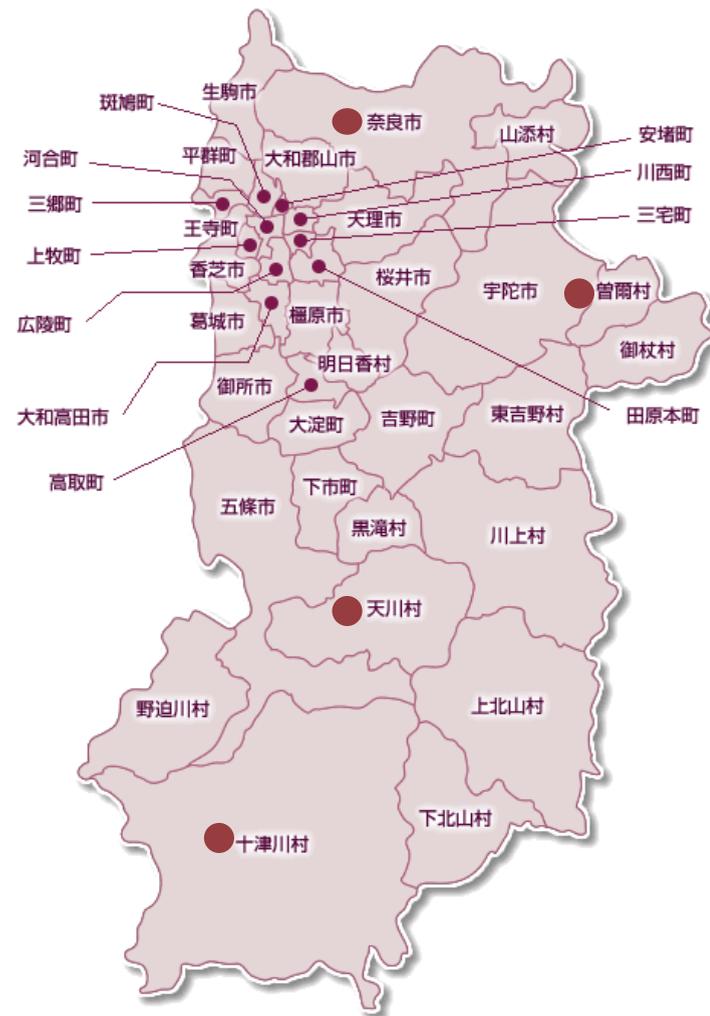
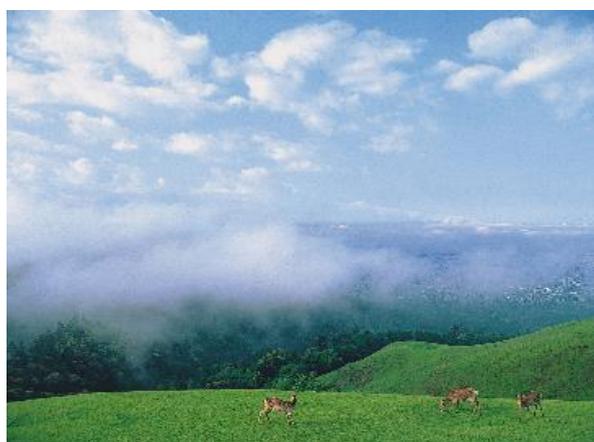
曽爾村 曽爾高原



天川村 洞川温泉街



奈良市 若草山



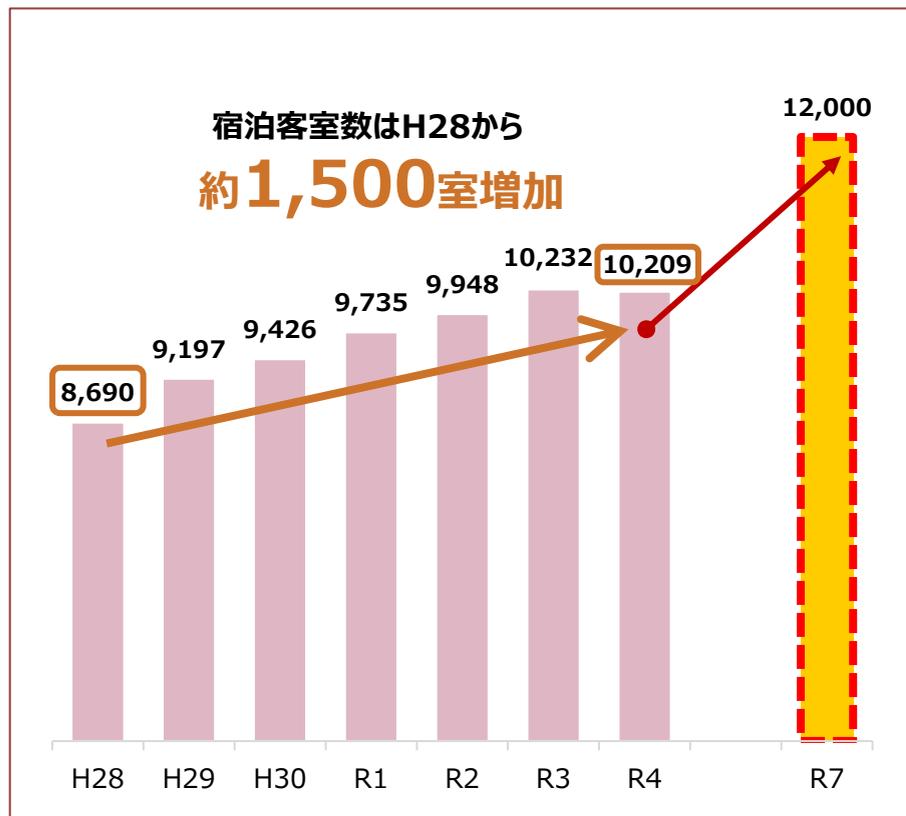
1-⑤ 奈良県の宿泊施設

ホテル誘致、滞在型観光の定着

- 本県は日帰り観光客の比重が高く、**旅館・ホテル客室数がこれまで全国最下位（47位）だったが、令和2年度には44位まで上昇し、令和4年度まで維持**
- 奈良県内での滞在型観光を推進するため、積極的にホテル誘致に取り組んだ結果、**着実に宿泊客室数が増加**
- **令和7年度までに宿泊客室数を12,000室にする目標を掲げ、滞在型観光をより一層促進するため、県内にホテル・旅館を新築される事業者を対象とした「奈良県宿泊施設立地促進補助金」を令和3年度に新たに創設。更に、令和6年度からは新築以外も対象とする等、補助対象を拡大。**

奈良県内の宿泊客室数

厚生労働省「衛生行政報告例」



誘致施設の事例



◀アコー「ノボテル奈良」
令和6年9月開業

Façade & Exterior design by
Hankyu Construction Management, Inc.



「紫翠ラグジュアリー
コレクションホテル奈良」▶
令和5年度開業

1-⑥ 宿泊者数の推移

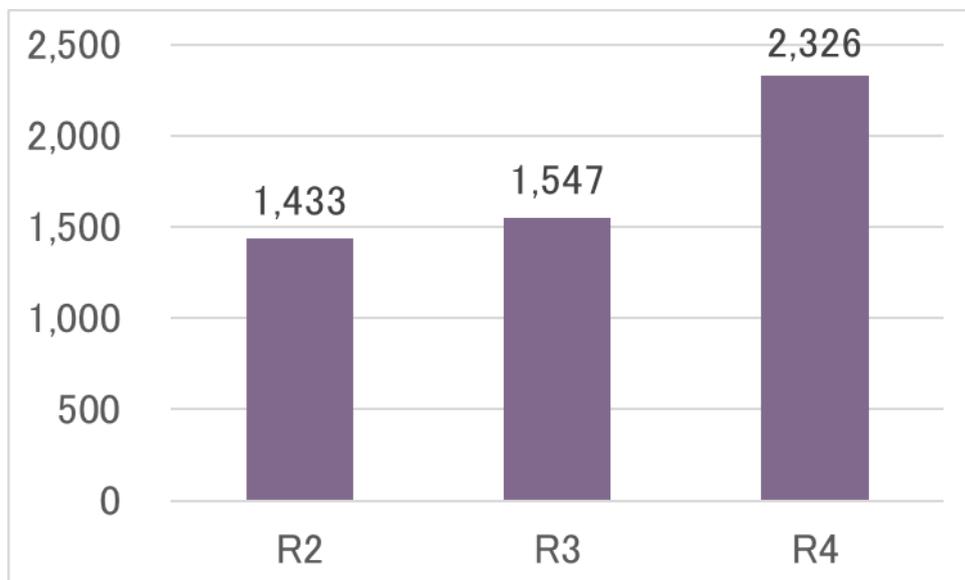
宿泊者数は回復基調

- 令和4年の本県の延べ宿泊者数は232.6万人（前年度比+77.9万人／+50.3%）
- 令和4年の本県の外国人延べ宿泊者数は3.1万人（前年度比+2.2万人／+260.8%）
- 新型コロナウイルスの水際対策が令和4年10月から大幅に緩和されたため、外国人延べ宿泊者数も回復が見られた
- 一方で、コロナ禍以前の令和元年と比較すると、延べ宿泊者数は▲17.6%、外国人延べ宿泊者数は▲94.2%の状況

令和4年1月～12月 奈良県宿泊統計調査

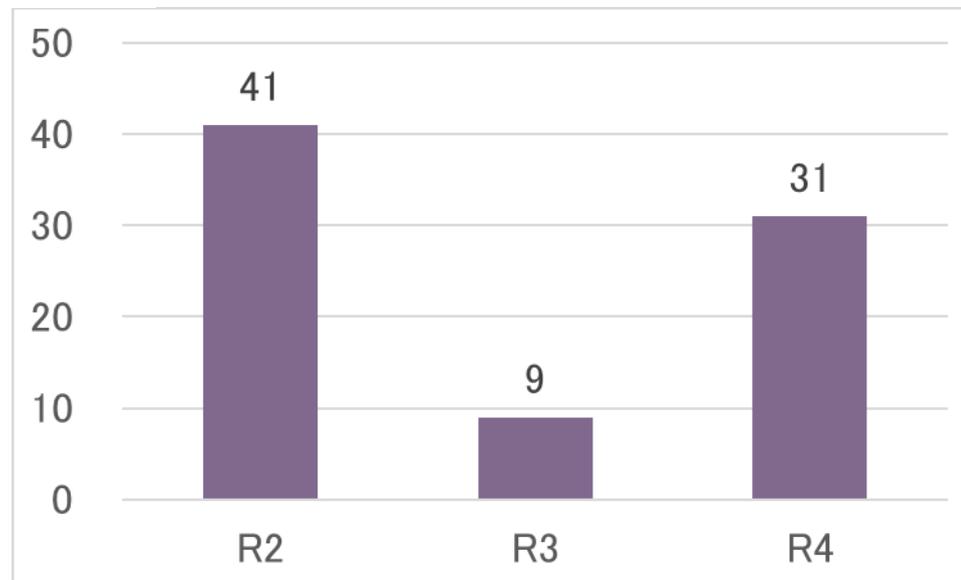
延べ宿泊者数

(千人)



外国人延べ宿泊者数

(千人)



1-⑦ 奈良県の経済・産業振興

- 魅力的な立地環境のもと、製造業や運輸業など、幅広い企業から新たな拠点として選ばれている
- 人的資源や優遇制度など、企業立地の強みが潜在

誘致企業の事例



▲(株)エクセディ
天理工場

(駆動系部品製造等 R2～)

(株)アテックス

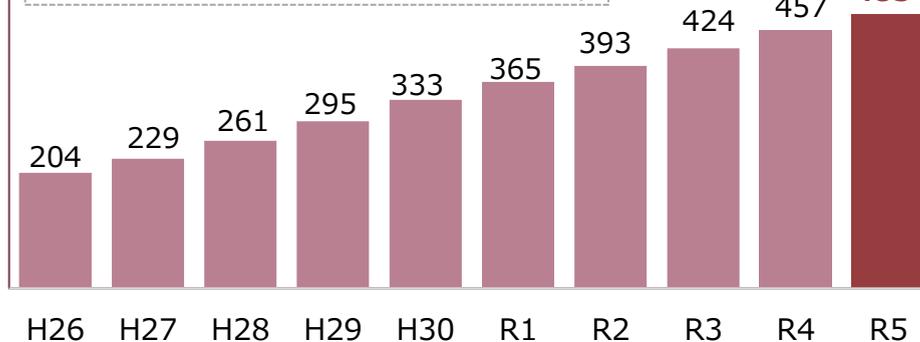
奈良事業所 ▶

(プラスチック部品製造等 R2～)

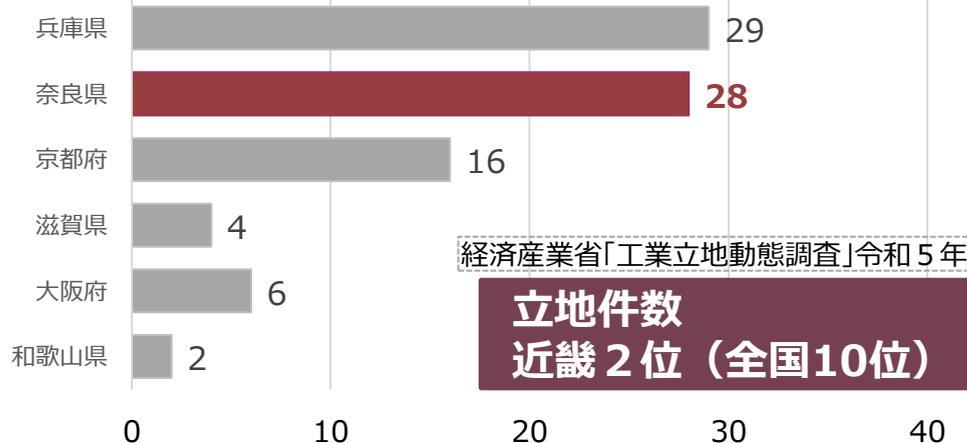


奈良県の工場立地件数

奈良県独自調査（平成19年度からの累積値）



近畿府県の工場立地件数



経済産業省「工業立地動態調査」令和5年

**立地件数
近畿2位（全国10位）**

1-⑦ 奈良県の経済・産業振興

京奈和自動車道及び西名阪自動車道周辺 工業ゾーンプロジェクト

工場進出の勢いが未だ続いている一方で、
県内の産業用地が不足



市町村と連携・共同して工業ゾーン創出プロジェクトに
取り組み、新たな工業ゾーン創出を実施していきます。



新たな工業ゾーン創出に向けて



京奈和自動車道及び
西名阪自動車道周辺を
中心に産業用地を創出

1 奈良県の特徴

2 奈良県の財政状況

3 奈良県の起債運営

2-① 決算額の概況

- 行政改革推進債を発行することなく、財政健全化に向けた取組を強力に推進

普通会計決算額

		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R5-R4
歳入決算額	(億円)	4,988	4,991	5,143	6,219	6,281	6,036	5,467	▲569
	県税	1,467	1,508	1,491	1,554	1,650	1,662	1,682	20
	地方交付税	1,567	1,540	1,568	1,596	1,825	1,801	1,825	24
	臨時財政対策債	276	258	207	188	236	56	22	▲34
	行政改革推進債	0	0	0	0	0	0	0	0
	県債（臨財債、行革債除く）	475	332	388	497	417	395	381	▲14
歳出決算額	(億円)	4,923	4,936	5,068	6,138	6,219	5,946	5,363	▲583
	義務的経費	2,424	2,511	2,532	2,620	2,466	2,460	2,365	▲95
	投資的経費	675	761	883	931	942	831	857	26
実質収支	(億円)	18	13	15	13	14	28	49	21
経常収支比率	(%)	94.6	92.8	93.7	92.6	84.8	89.5	88.6	▲1

2-② 県債残高の推移

- 県の借金である県債残高が、決算ベースで9年連続減少し、**ピーク時(H26)から約1,700億円減少**

県債残高総額の推移

(億円)

11,000

10,500

10,000

9,500

9,000

8,500

0

県債残高総額のピーク

10,700

10,699

10,616

10,501

10,257

10,027

9,793

9,646

9,315

8,974

ピーク時より**約1,700億円減少**

H26

H27

H28

H29

H30

R1

R2

R3

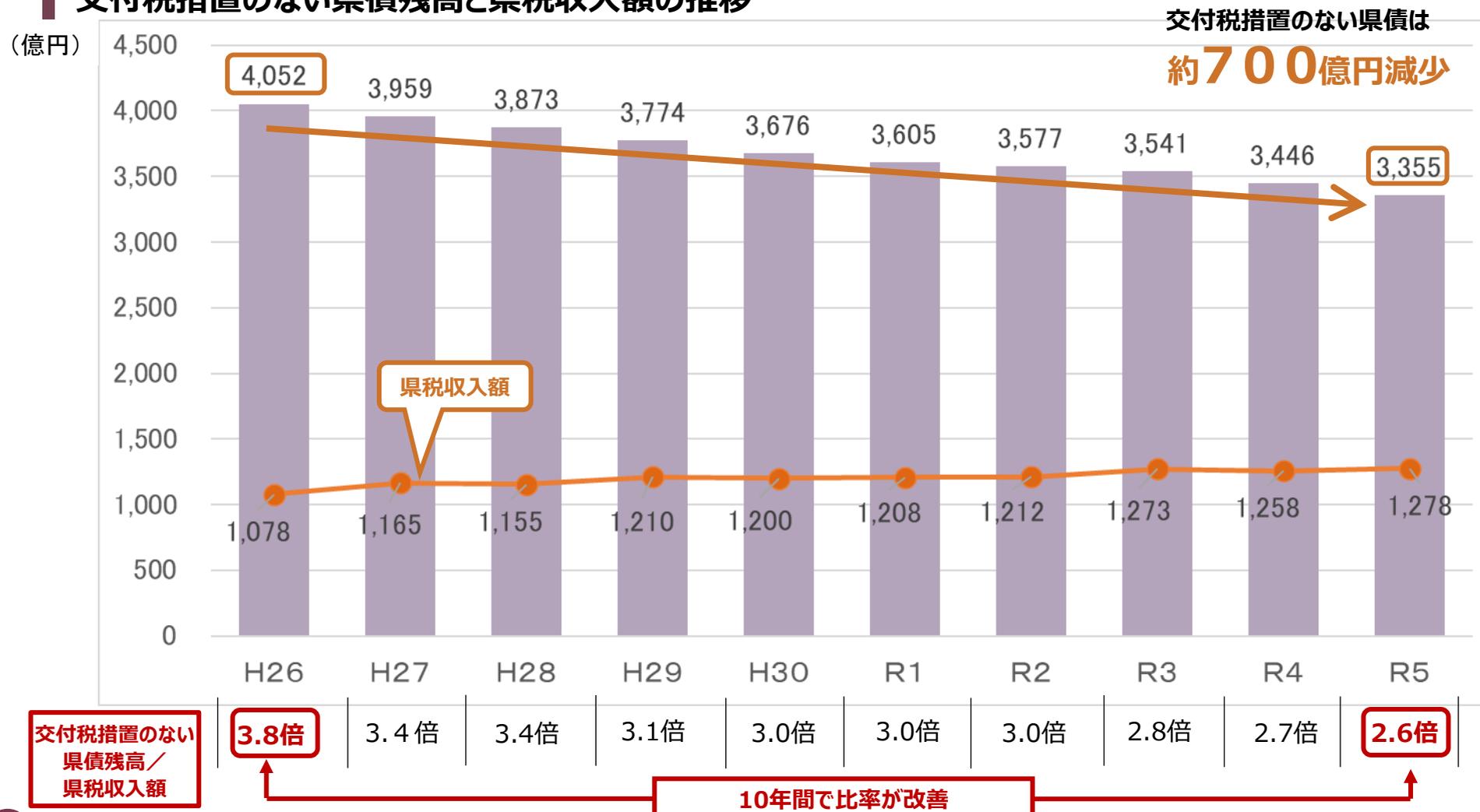
R4

R5

2-② 県債残高の推移

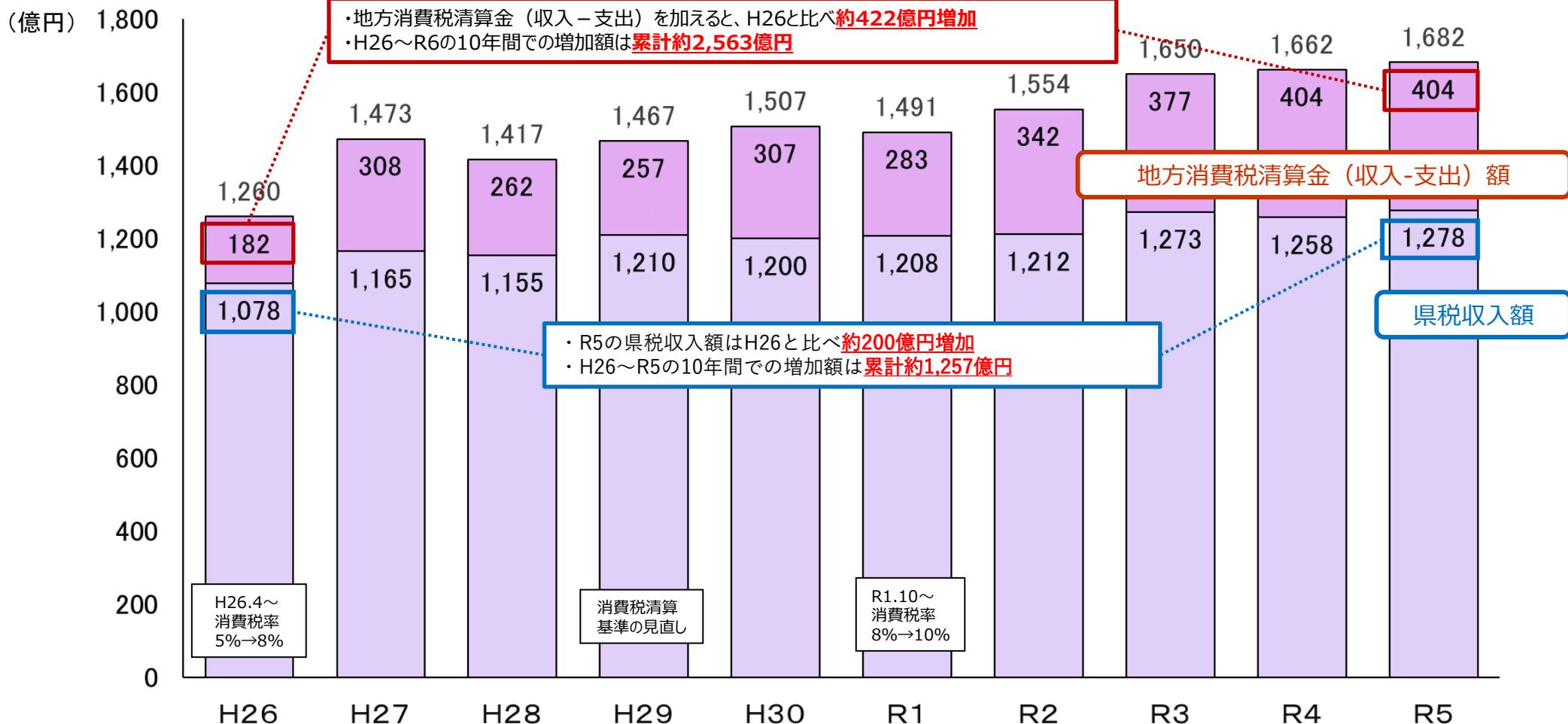
- 県債管理3原則の実行により、交付税措置のない県債残高も約700億円減少
- 交付税措置のない県債残高と県税収入額との比率は3.8倍から2.6倍へと改善

交付税措置のない県債残高と県税収入額の推移



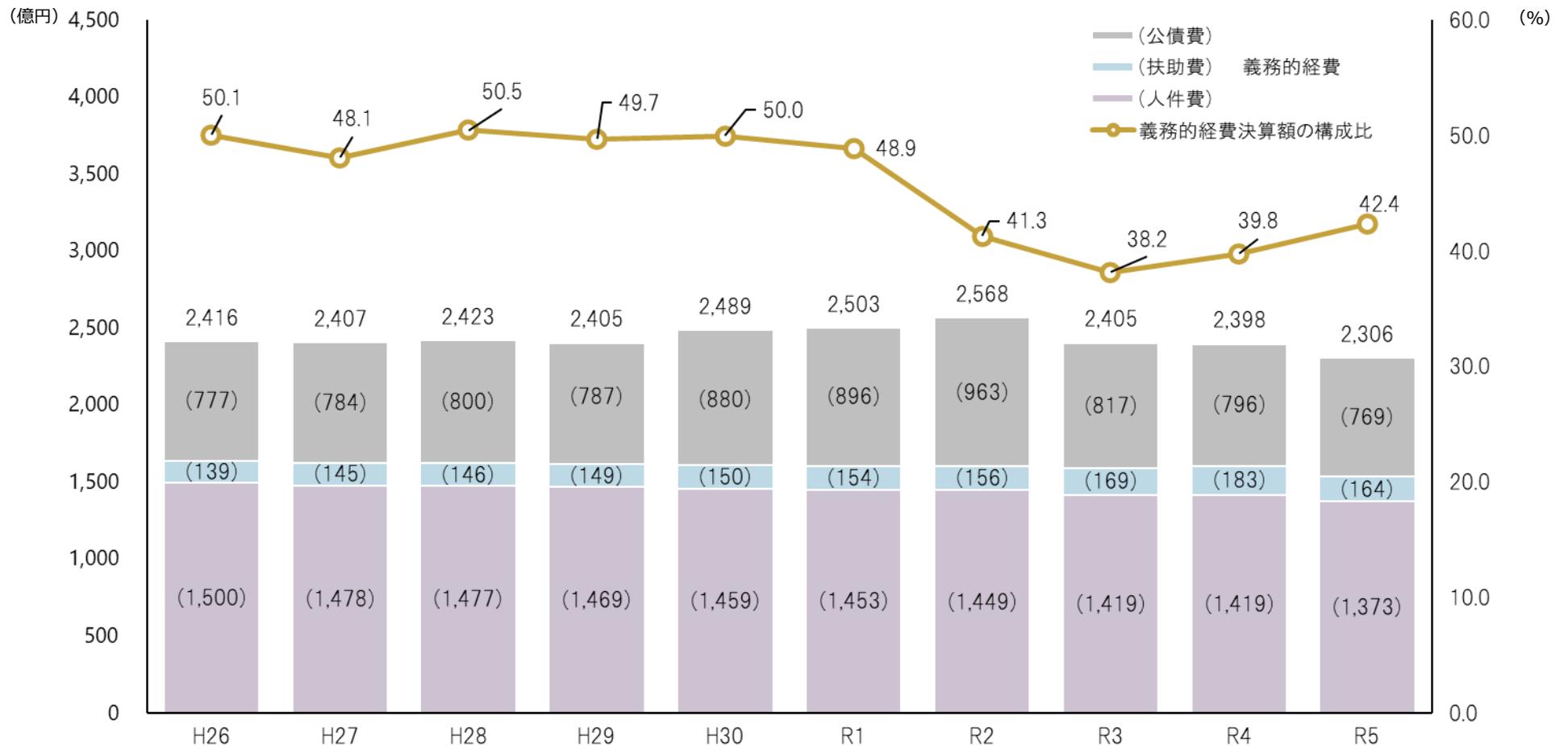
2-③ 県税の推移

- 令和5年度の県税は、株式市況の好調による株式譲渡所得割県民税の増加などから、前年度比 **20億円の増加**
- 地方消費税清算金は、前年度並み



2-④ 義務的経費の推移

- 令和5年度の義務的経費は人件費が減少したことにより、**9.2億円の減少**
- 職員定数の見直しや、自主的な給与抑制措置の継続実施により、義務的経費の抑制に取り組む

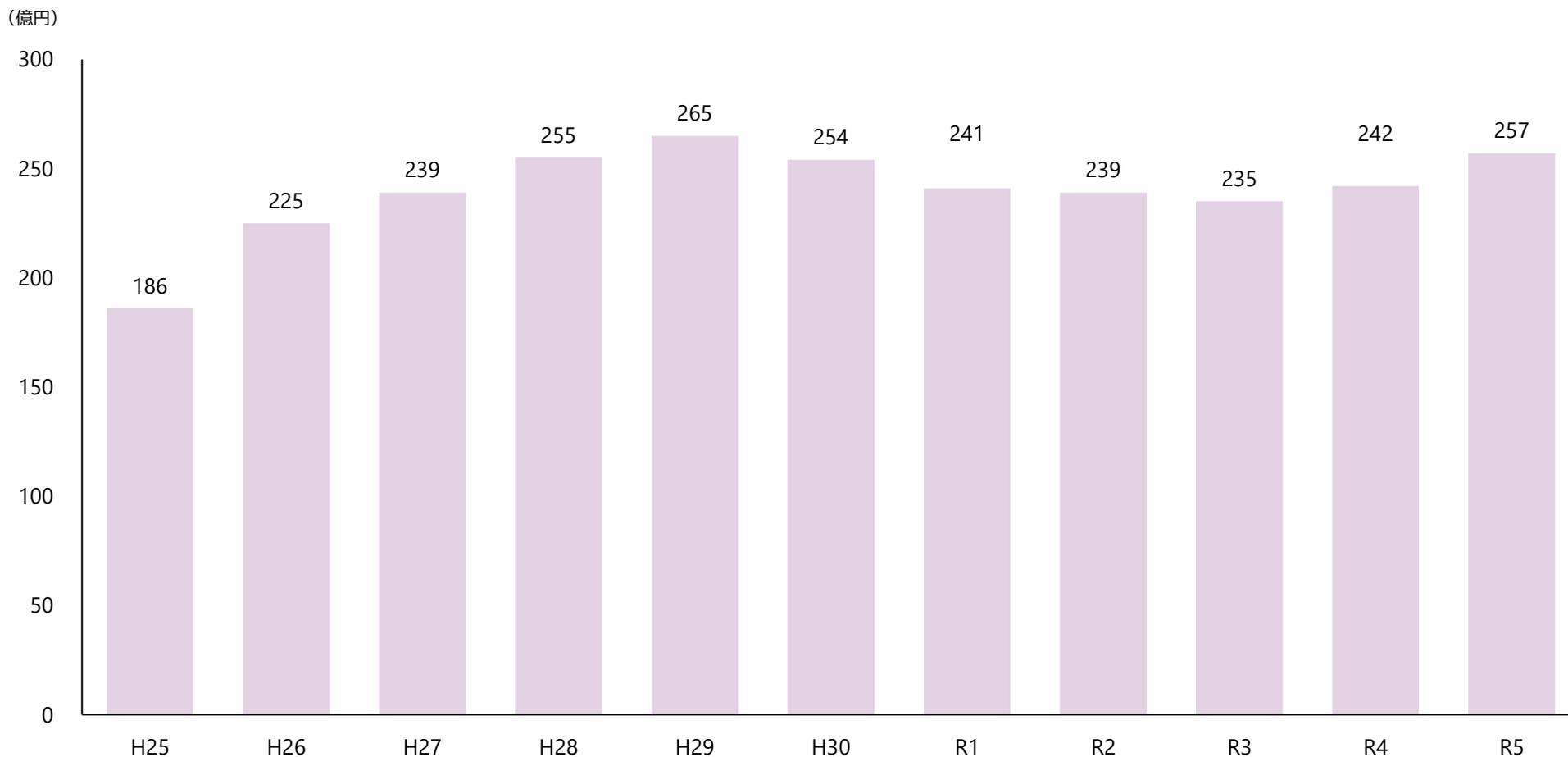


※ 表示単位未満で四捨五入しているため、数値の計と合計が一致しない場合がある

2-⑤ 基金残高の推移

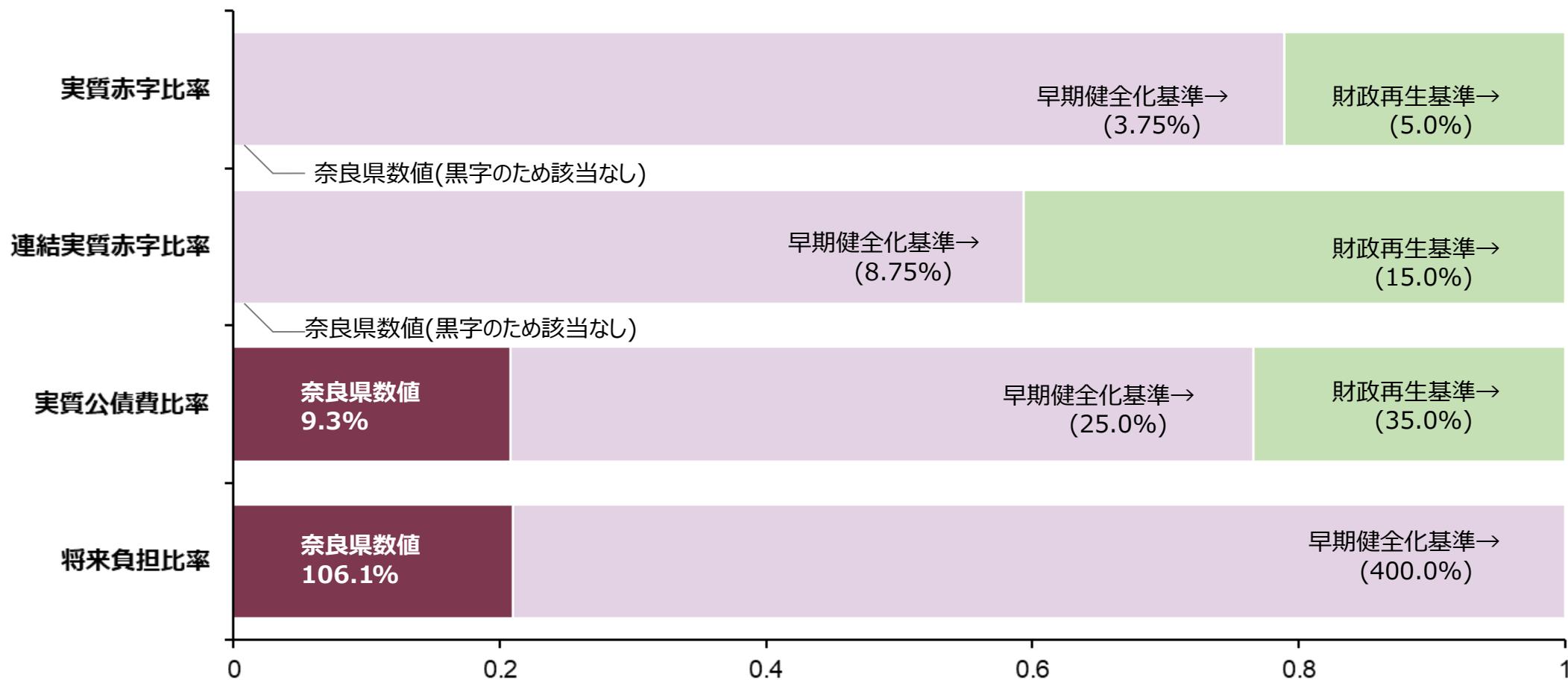
- 極力、基金に依存しない財政運営を実施することで、**財政調整基金については一定の水準を維持**
- その他、**市場公募債の償還に備えた積立てについては、確実に実施**
- 地方債、財投機関債の購入などによる**効率的な運用を実施**し、利子収入の確保に努める

基金残高の推移（財政調整基金）



2-⑥ 財政健全化判断指標の状況 (R5年度末)

- 財政状況を示す健全化判断比率の各指標は、**いずれも健全な数値**
- 引き続き、徹底した行財政改革により、健全な財政を維持



2-⑧ 公営企業の決算状況

- 水道事業については、前年度に引き続き、良好な経営状況
- 流域下水道事業については、電気代の高騰によりR4年度に単年度損失を計上したが、R5年度はR4年度の損失を上回る純利益を計上

(単位：百万円)

事業名	BS		PL			R4年度末 借入金残高	資金不足 比率 (%)	
	R4年度	R5年度	R4年度	R5年度	R5年度			
水道用水 供給事業 (法適用事業)	資産合計	146,366	146,827	総収益	11,001	10,915	16,477	-
	負債合計	55,423	53,922	総費用	9,190	8,965		
	資本合計	90,943	92,905	純利益・損失	1,811	1,950		
流域下水道事業 (法適用事業)	資産合計	152,522	149,080	総収益	12,327	12,908	18,069	-
	負債合計	124,598	120,545	総費用	12,684	12,298		
	資本合計	27,924	28,535	純利益・損失	△357	610		

2-⑨ 公社・独立行政法人の決算状況

- 土地開発公社については、国及び県の用地先行取得による事務費収入および県からの受託収入の増などにより、収益を確保できた
- 県立医科大学については、コロナ病床確保支援補助金が大きく減少した一方で、病床運用の抑制を継続したことにより、経常損益及び当期損益が赤字化
- 県立病院機構については、病床稼働率が上がり医業収益は増加した一方で、人件費・材料費等の費用の増加により経常損益及び当期損益が赤字化

(単位：億円)

		公社(R5 決算)	独立行政法人(R5 決算)	
		土地開発公社	県立医科大学	県立病院機構
BS	資産の部	170	555	423
	負債の部	136	513	543
	資本の部	33	42	△121
PL	経常損益	1	△17	△43
	当期損益	1	△14	△42

※ H26年度より、独立行政法人県立病院機構を設立(県立2病院が移行)
 住宅供給公社は、H26年3月末に解散
 道路公社は、H31年3月末に解散

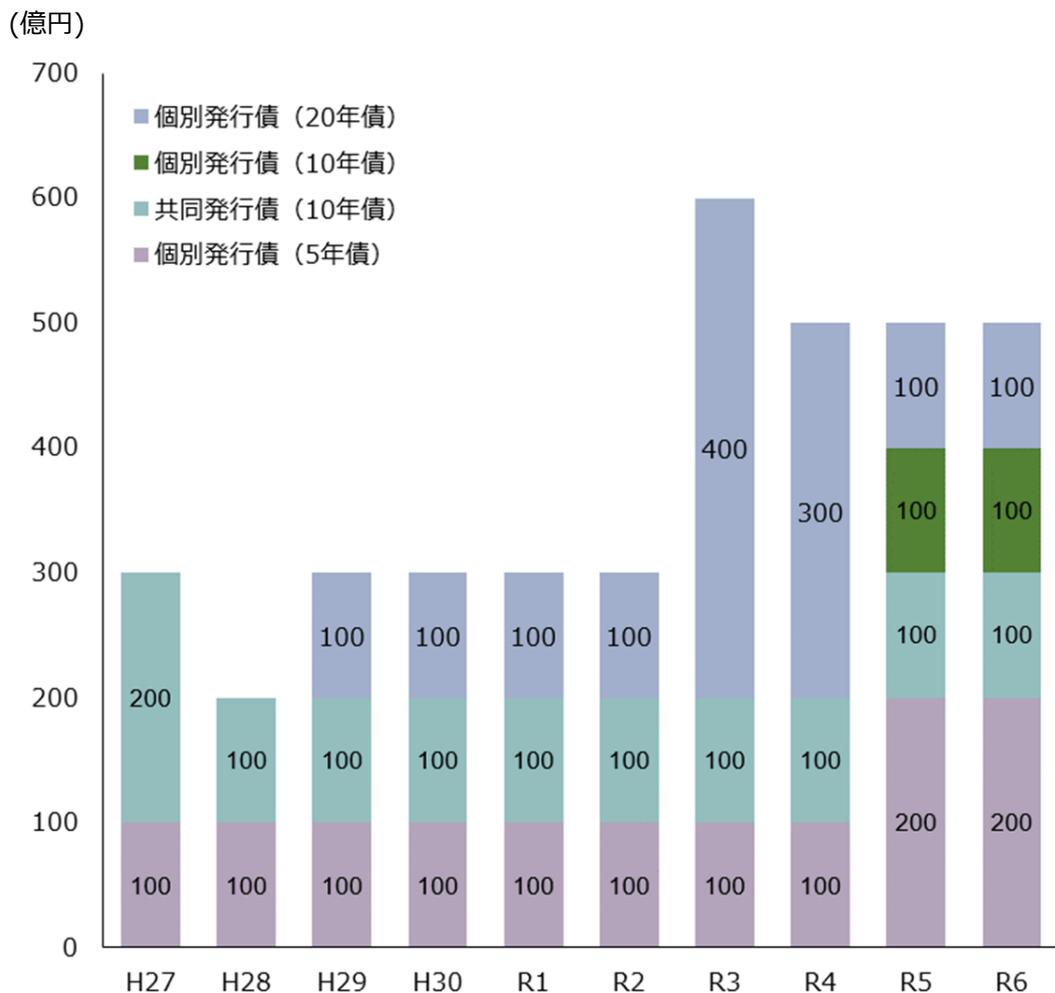
1 奈良県の特徴

2 奈良県の財政状況

3 奈良県の起債運営

3-① 市場公募債の発行概要

市場公募債発行額の推移

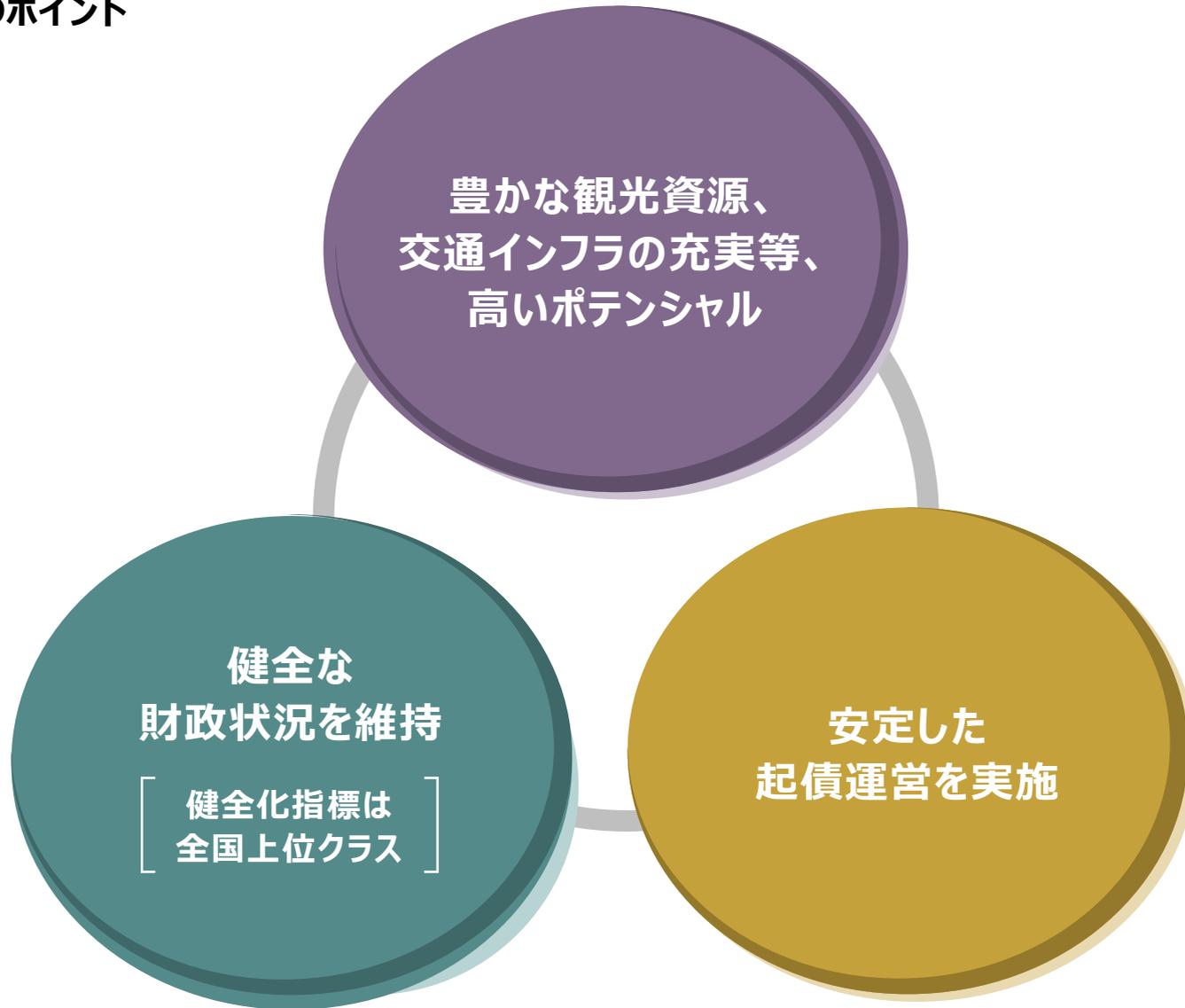


令和6年度の発行概要

年 限	個別発行				共同発行
	5年満期一括		10年満期一括	20年満期一括	
起 方	主幹事		シ団	主幹事	
債 式	主幹事		シ団	シ団	
発 行 日	5月20日		11月下旬	12月下旬	
条 件 日	5月9日		11月上旬	12月上旬	
発 行 額	100億円		100億円	100億円	

※別途、共同発行の枠組みによりグリーン共同債10億円を発行予定

本日の説明のポイント



奈良県総務部財政課

TEL	0742-27-8362
FAX	0742-23-6895
所在地	〒630-8501 奈良市登大路町30番地
WEB	http://www.pref.nara.jp/

